

社会資本総合整備計画 事後評価書

出雲市いずもしにおける防災情報伝達システムぼうさいじょうほうでんたつ整備せいび (第2期だいき)

出雲市いずもし

令和2年3月

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

令和2年3月30日

計画の名称	2 出雲市における防災情報伝達システム整備（第2期）		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）	交付対象	出雲市
計画の目標			

・出雲市は、平成17年3月と平成23年10に合併し、624.13km²の広大な面積と多様な災害要因を抱えるとともに、集落が点在するため、防災対策を講ずるうえで迅速かつ的確な情報伝達や情報収集が必要不可欠である。

計画の成果目標（定量的指標）

・出雲市における防災情報伝達システム整備（第1期）での出雲市南部地域の整備に引き続き、出雲平野部地域及び出雲市北部の山間部及び海岸部に位置する平田地域、大社地域において、地震に強い情報伝達体制を構築するため、地震発生時等に孤立地域や被災地域が発生した場合においても防災情報の受信が可能となるよう防災行政無線等の整備を行ない、出雲市全域において防災情報が伝達できる戸数を6,391戸から11,000戸に増加させる。併せて、市内全域に屋外拡声子局を整備することで、屋外での防災情報の音声放送可聴面積を増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

①	出雲市全域における防災情報の受信可能戸数（戸）	定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)	
		6,391戸	-	11,000戸	
②	出雲市全域における防災情報の屋外音声放送可聴面積（km ² ）	25km ²	-	54km ²	
③					

全体事業費	合計 (A+B+C)	236.36百万円	A	222.38百万円	B		C	13.98百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.59%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	--	---	----------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	令和2年3月30日
事業担当課で、数値目標の達成状況や事業効果を検証し、戸別受信機の整備を行う必要があるとの結論に達した。その検証結果を踏まえて、今後の防災行政無線の整備方針を検討し、令和2年度から戸別受信機の整備に取り組んでいく。	公表の方法	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	防災	一般	出雲市	直接	出雲市			出雲市地区都市防災総合推進事業（第2期）	防災行政無線、中継局及び屋外拡声子局の整備	出雲市						222.38	
合計											222.38						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	防災	一般	出雲市	直接	出雲市		情報伝達ネットワークシステム整備事業	防災行政無線と各種情報伝達媒体（エリアメール、CATV音声告知放送）の操作卓統合	出雲市						13.98	
合計														13.98		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	出雲市地区都市防災総合推進事業で整備した防災行政無線施設と各種情報伝達媒体（エリアメール、CATV音声告知放送）を統合することにより、災害時等緊急時の情報伝達を迅速かつ、より効果的に実施できる。															

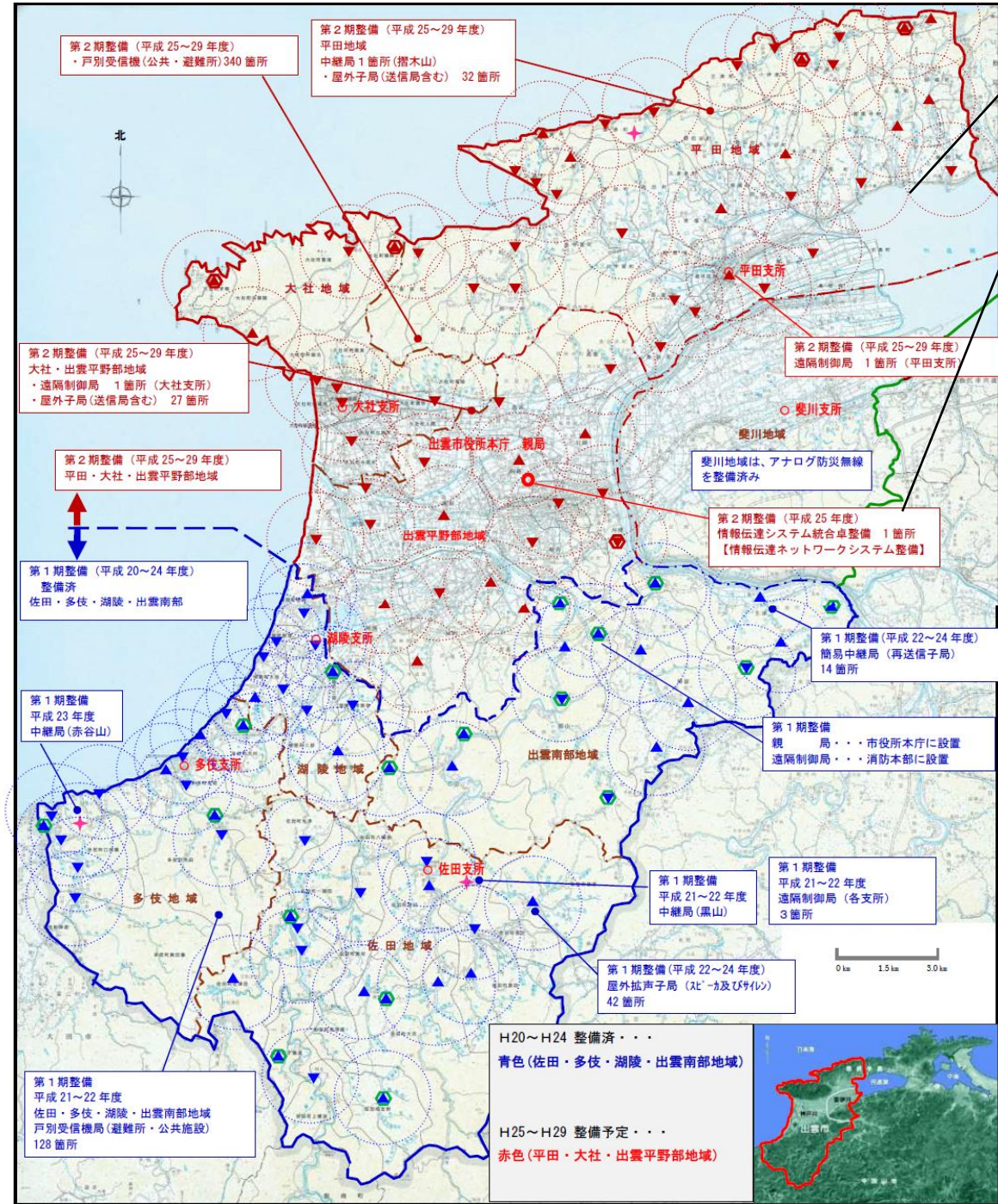
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 防災情報を防災行政無線を整備した地域全域に迅速に伝達することが可能となった。 防災行政無線の操作卓を本庁舎以外に各支所にも遠隔操作卓を整備し、柔軟な情報伝達が可能となった。 防災行政無線とエリアメール、CATV音声告知放送を一操作で送信することで、緊急情報を住民に伝達する時間が大幅に短縮された。 防災行政無線を利用し、避難所などとの双方向通信を行い、防災情報収集が向上した。 														
II 定量的指標の達成状況	指標①（受信可能戸数）	最終目標値	11,000戸	目標値と実績値に差が出た要因	市単独費等で一般家庭への戸別受信機の設置を行う予定としていたが、一般家庭への設置は取り止めたため、目標値と実績値に差が生じた。 本来であれば一般家庭への設置を取り止めた段階で整備計画の変更を行い、目標値等を再設定すべきであった。											
		最終実績値	6,491戸													
	指標②（屋外音声放送可聴面積）	最終目標値	54km ²	目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値	54km ²													
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線の戸別受信機が未整備の地域における整備を行う。 																
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

計画の名称	2 出雲市における防災情報伝達システム整備 (第2期)	交付対象	出雲市
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)		



1-A-1 出雲市地区都市防災総合推進事業 (第2期)

1-C-1 情報伝達ネットワークシステム整備



デジタル式防災行政無線中継局 (摺木山)



デジタル式防災行政無線再送信子局 (鶴崎)



デジタル式防災行政無線再送信子局 (西地合)



デジタル式防災行政無線屋外拡声子局 (今市コミュニティセンター)